

二〇二四年度

# 適性検査Ⅰ

## 注意

- 1 問題は **1** のみで、5ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は四十五分間です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 **受験番号・氏名**を問題用紙と解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

聖徳学園中学校

受験番号				

氏名

1 次の「文章1」と

「文章2」を読み、あとの問いに答えなさい。

(\*印のついている言葉には、本文のあとに「注」があります。)

文章1

これからは、単純作業や、決まったことを行うルーティンワークは、ほとんどがAIやロボットにとつて代わられます。

たとえば、スーパーマーケットやコンビニエンスストアのレジは、すでに無人化が始まっています。2018年に、アマゾン・ドット・コムが、レジに人がいない無人コンビニの1号店をアメリカのシアトルでオープンしました。

しくみは、QRコードを表示させたスマホを店舗入り口の機器にかざして入店すると、あとは商品を手取るか、ショッピングバッグに入れて店を出るだけで支払いが終わるといふものです。

AIが、カメラやマイク、センサーなどで店内にいるお客の動きを解析し、商品の代金を自動的に計算するわけです。今後は世界じゅうで、このような店舗が増えていくと思われまます。

(中略) 自動運転の実用化により、運転手の仕事もなくなっていきます。バスやトラックなど、決められた経路を走る場合はもちろん、タクシーもいづれ無人になっていくと予想されます。

いまは車を所有せず、好きなときに気軽に車を借りられるカーシェアリングサービスを利用する人が増えています。その車が自動運転になれば、さらに便利になります。自分の車をもっていなくても、所定

の駐車場に行つて車に乗り込み、行き先を入力すれば、あとは自動で連れていってくれる——そんなカーシェアリングとタクシーが融合した新しいサービスが生まれることも考えられます。

日本では超難関資格の一つといわれる公認会計士の仕事もなくなるといわれており、アメリカではすでに公認会計士の失業が始まっています。なぜなら、AIの会計ソフトを使用して会計処理ができるのであれば、企業も高い給料を払って会計士を雇うより、会計ソフトを買うほうがはるかに安上がりだからです>(\*コンサルタント業務に長けた会計士は、逆に引っぱりだこになるといわれています)。

企業や役所では今後、事務作業の自動化がさらに進み、それによって余った人員が整理されていくでしょう。大きな組織に勤めて一生安泰だと思っていたら、明日にでも「もうあなたは要りません」と宣告されるかもしれないのです。⑦そんな大変な時代が、すぐそこまできています。

一方で、AIの進化と普及が進むことにより、新たな仕事が出現することも予想されます。

たとえば、企業でデジタル関連の事務を統括する部門や、その責任者です。企業のあらゆる部門にAIやコンピュータが深くはいりこみ、人間のかわりに仕事を行うようになれば、当然、それらを管理統括する存在が必要になります。

現在でもIT関連の企業などには、導入するITシステムをすべて

統括するCTO（チーフ・テクノロジー・オフィサー）最高技術責任者）と呼ばれる役割が存在します。今後は業種を問わず、すべての企業で、そうした存在が不可欠となるはずです。

また、AIが職場にはいつてくることによって、働く人たちは今までにない種類の精神的ストレスにさらされます。AIという新しい同僚がやってきて、職場のいろいろな仕事を奪っていく、次は自分の仕事が奪われるのではないか……。

そんな不安やストレスを抱えた人のメンタルケア（精神面の援助や介護）を行う、専門のセラピスト（心理療法などを行う人）の需要が高まることも予測されます。

それから、AI農業も普及していくでしょう。2018年に、日本版GPSをめざす測位衛星「みちびき」の本格運用が始まりました。これにより、取得できる位置情報の誤差は、一般的なGPSが約10メートルであるのに対して、専用の受信機を使えば10センチメートル程度まで縮められるようになります。

これを活用することで、AIによる農機具の自動運転が可能になります。AIによる農業の無人化は、農業の担い手がいないという深刻な課題の解決にもつながります。

ただ、そうしたことが実現しても、AIをコントロールする人は必要ですから、その技能をもつ人が、農家から無人農業を請け負うといったビジネスが生まれなくてはなりません。

建築現場で使われている重機も自動化が進みますが、同時に、その

重機を管理して動かす仕事が出てきます。AIによって人間の仕事はなくなっていく一方、そのAIを使う人間の仕事が増えていくということです。

（竹内薫『「文系？」「理系？」に迷ったら読む本』PHP研究所）

〔注〕 コンサルタント—— 会社の経営などについて、相談、

指導を行う専門家。

先日、ある女子高校生から、質問のメールが届いた。

人工知能には、何ができるのでしょうか。人工知能は、人間を超えますか？ 私たちは、人工知能に支配されてしまうのでしょうか。

人工知能の創成期を歩いてきた女性研究者として、多くの女性が抱えるこの不安には真摯に答えなければならぬと背筋が伸びた。

というわけで、今回は、黒川伊保子のAI入門。

AIは、人間の脳の中で行われている認識や思考演算をコンピュータ上に\*実装して、携帯電話や家電製品、車、ビルや工場などの管理システムに導入していく技術である。

AIに何ができるのでしょうか、という質問には、「人の想像できることはなんでも」と答えるしかない。人間の能力を再現していく技術なので、「今できること」は限られていても、「未来できること」は無敵だ。「自由自在に空を飛んで」「地球の裏側に穴を掘って」も「私のために小説を書いて」「私の病気に、私より早く気がついて」だって。

その能力は、もちろん、人を超える。

ただし、人を超えるということと、人の手に負えないということは違う。多くの方は、そこを誤解している。

人を超えるということでは、「力持ち」なら、ブルドーザーは人を超えている。「記憶力」「計算力」では、既に七〇年前のコンピュータが人を超えているのだ。④機械が人を超えること自体は、恐れることではない。むしろ、人を超えなきや意味がない。

では、人間の職業を奪いますよね、と質問されたら、それもYESである。

かつて、内燃エンジンが発明されて、「穴を掘る人」や「荷物を担いで運ぶ人」は失業した。しかしそれは、人類が命を落とすような過酷な労働から解放された瞬間でもあった。

人工知能も同様である。ほどなく、遠隔操作によるブルドーザーなどの半自動運転が可能になる。そうなれば、荒野や山の中で危険な目に遭っている\*建機の\*オペレーターたちは、快適なオフィスで命の危険なく働ける。さらに、午前中は北海道の山奥で、午後は沖縄の海岸線で働くことも可能なので、建築業界の人手不足が大幅に解消される。

とはいえ、それは、逆の見方をすれば、「人の職業が奪われる」こともある。

二〇〇〇年ごろから編集ソフトとプリンタが進化して、企業はちよつとしたチラシを自作できるようになった。このため、町の印刷屋さんの多くが廃業やビジネススタイルの変更<sup>へんこう</sup>に追い込まれた。時代の\*趨勢は、人工知能の登場を待たずとも、技術の革新と共に常に、「今の職業」を呑み込んできた。

人工知能は、たいていの定型作業を代替してしまうので、呑み込まれていく職業は、たしかに少なくはない。しかし、人工知能の開発・運用に大きなパワーがかかるようになり、失業した人の数以上の雇用が必要になる。コンピュータが登場して、そろばんを弾く人が要らな

くなくても、それ以上のITエンジニアを社会は必要とするようになったのと同じだ。それに、AIとの付き合いは、単なるプログラミングよりきつと面白い。

でも、AIは、いつか人間を支配するのでは？

その質問には、私は否と答える。現在のAIには、生存本能がなく、自我がない。よりよく生きよう、誰よりも優遇してほしい、誰かをいじめて自分の存在価値を確かめたい、という「気持ち」の回路は作られていない。それらは、現在のAIの守備範囲の外にある。

しかし、その設計を誰かが仕込めば、もちろんそうなる。自動車だつて、「二〇二五年一月一日〇時、ブレーキを不能にする」というふう  
に制御系せいぎよけいにプログラミングされていれば、未来のある日、突然ブレーキが効かなくなる。機械が人を襲うおそのに、人工知能である必要はないのだ。

機械を設計した人に悪意があれば、人工知能に限らず、その危険をはらんでいる。だからこそ、メーカーの信頼性が大事なのだと思  
う。(中略)

そして、何でもできる人工知能については、逆に言うと、人類は「何をさせないべきか」考えることがとても大事だと私は思う。定型作業を機械に代替させてしまうと、若い人材が育たない。人は「発想したり、開発したり」できるようになる前に、定型作業に泣かなきゃいけないからだ。経営者には、あえてAIを導入しないという英断が求められている。生活者も一緒である。自立を妨げるような「余計なお世

話」は暮らしに取り入れてはいけない。

(黒川伊保子『幸福になるための人生のトリセツ』清流出版)

〔注〕実装——実際に取りつけること。

建機——クレーン、ブルドーザーなどの建設機械の略。

オペレータ——機械を操作する人。

趨勢——物事が進んでいく様子。

〔問題 1〕 ② **そんな大変な時代** とありますが、どのような時代ですか。

解答らんには当てはまるように、「AI」「仕事」という言葉を使い、四十字以上五十字以内で説明しなさい。(、や、などもそれぞれ字数に数えます。)

時代。

〔問題 2〕 ④ **機械が人を超えること**自体は、恐れることではないと

ありますが、筆者はAIの導入についてどのようなことが問題だと考えていますか。解答らんには当てはまるように五字以上十字以内で**文章 2** からぬき出しなさい。(、や、などもそれぞれ字数に数えます。)

AIの導入が人間の **おそれがあること**。

〔問題 3〕 あなたは、これからAIと共存するならば、どのような

能力を身につけたいと思いますか。あなたの考えを四百字以上四百四十字以内で書きなさい。ただし、下の条件と**「きまり」**にしたがうこと。

条件 ① あなたが、**文章 1**・**文章 2** から読み取った、

共通していると思う考え方をまとめ、それをはっきり示すこと。

条件 ② 「①」の内容と、自分が身につけたい能力を関

連させて書くこと。

条件 ③ 適切に段落分けをして書くこと。

〔きまり〕

○ 題名は書かず、最初の行から書き始めます。

○ 各段落の最初の字は一字下げて書きます。

○ 行をかえるのは、段落をかえるときだけとします。

○ 、 や 。 や「」などもそれぞれ字数に数えます。これらの記号が行の先頭に来るときには、前の行の最後の字と同じますめに書きます(ますめの下に書いてもかまいません)。

○ 段落をかえたときの残りのますめは、字数として数えます。

○ 最後の段落の残りのますめは、字数として数えませんが

